

1 主題名 男女の協力「『銅メダル』パーティー」

2 - (3)「互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合う。」

2 指導観



本学級の子どもたちは、体育のボールゲームや家庭科の調理実習などでは、男女が協力して学習を進めてきた。しかし、自分の思い通りにならなかったり、友達が失敗したりすると傷つくような言葉を投げかけて泣かせてしまったり、文句を言ったりすることも多い。これは、協力することの大切さは分かっているけれども、実際には相手を思いやることができず自分本位な言動をとるためであると考えられる。そこで、感情と理性のバランスをとりながら、異性への意識が対立から協調へと発達してくるこの期に、本主題を設定する。

望ましい人間関係は、互いに理解し合うことから始まる。信頼し、助け合う中から、真の友情がはぐくまれていく。男女が互いに認め合うとは、お互いの違いを認識した上で、ともにかけがえのない存在であるという自覚に立って、相手のよさを見つけることである。そうすることによって、お互いの力を出し合い、欠点を補い合うという協力が生まれる。さらに、相手のよさに学び、互いに成長しようとする生き方につながっていく。本主題に関しては、低学年2 - (3)「友達と仲良くし、助け合う。」中学年2 - (3)「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。」を学習している。これを受けて、本主題では男女が互いのよさを認め合いながら協力したり助け合ったりして、ともに高まろうとする心情を育てることがねらいである。

3 ねらい

男女が互いのよさを認め合い、お互いの力を出し合って協力したり、欠点を補いながら助け合ったりして、ともに高まろうとする心情を育てる。

4 計画

事前	・ 児童アンケート（「宿泊訓練のふりかえり」）による児童の協力の様子の把握 ・ 木佐木評価システムによる道徳的行為「男女の協力」の観察
	 観察や調査による実態把握から、具体例を多く提示し、 子どもの思考をゆさぶり内省させ、価値の主體的自覚につなぐ。
本時	・ 資料や宿泊訓練のふりかえりを手がかりに、男女の協力の大切さについて考えさせる。
	 本時で考えた「男女が協力して助け合う」に必要な心を掲示し、 賞賛や助言に生かす。
事後	・ 男女の協力に必要な心の教室掲示 ⇨意識化 ・ 木佐木評価システムによる継続的観察とそれをもとにした賞賛と紹介

5 授業仮説

- (1) 登場人物の道徳的行為（「失敗したっていいからさ。……」「ドンマイ、ドンマイ。……」）を取り出し、その行為による光江の気持ちや、正が学んだことを話し合わせれば、ねらいとする価値を追究することができるであろう。
- (2) 正に学んだことを意識させ、「男子と女子が仲良く協力し、助け合うには」という視点で自分の考えを書かせれば、ねらいとする価値を自覚し、実践への意欲を高めることができるであろう。

6 準備 挿絵 道徳ノート 心のノート 宿泊訓練のふりかえり

7 展開

	学習活動と内容	教師の支援活動	評価
気づく	1 男女の協力について、今までのことを振り返り、学習の見通しをもつ。 ・宿泊訓練...いつも同じ人がやっていた。遊んでいる人がいた。 ・掃除...遅れてくる。一生懸命にしない。	宿泊訓練や、掃除の間などで、協力できなかったことを思い出させ、学習の方向付けをする。	・自分のことを振り返っている。 (発言)
考える	2 資料「『銅メダル』パーティー」を読んで話し合う。 (1) 正が「失敗したっていいからさ。…」と言ったのは、どんな気持ちからか話し合う。 ・チームを盛り上げたい。 ・失敗は仕方がない。 (2) チャンスを三度逃した光江は、正の励ましを聞いてどんな気持ちになったかについて話し合う。 ・失敗してもだいじょうぶ。 ・次はうまくやろう。頑張るぞ。 (3) 正は、サッカー大会を通してどんなことを得たのか話し合う。 ・励まし合うことで、みんなが楽しい気持ちになれる。 ・お互いの気持ちや考えを理解し合えば、男女仲良くやっていける。 ・相手の立場を分かろうとすれば、思いやりの心が生まれ、仲良く協力していける。 (4) 正たちと比べて、今までの自分について振り返る。 ・登山の時、疲れている人を待ったり、危ないところを教えたりした。	励まし合いながらチームを盛り上げようとしている正の気持ちをつかませる。 正の励ましで光江が楽しくのびのびとサッカーをやっていることをとらえさせる。 友だちのよさに目を向け、お互いの気持ちや立場を考えることによって理解し合い、認め合うことができるようになることをつかませる。 宿泊訓練の振り返り、協力できたこと、できなかったことがあったことを自覚させる。	・正の発言に共感している。 (発言) ・正が得たことを考えている。 (発言) ・今までの自分自身を具体的に振り返っている。(発言)
深める	3 これから男子と女子が仲良く協力して助け合うには、どんな心が必要か考える。 ・失敗を許す心 ・相手のよいところを認め合う心 ・お互いのよさを生かそうとする心	考える時間を確保し、ノートに書くことによって、自分の考えをつくらせる。	・自分が今後どんな心構えでやっていくか、考えている。 (ノート)
つなぐ	4 「心のノート」P47を読み、「男子と女子の友情について思うこと、考えること」という視点で本時の感想を書き、これからの自分について考える。 ・男女で協力して、気持ちよい学校生活をつくっていききたい。	宿泊訓練の時に男女が協力していた事例を挙げ、自分たちも協力すれば高まることができそうだと自信を持たせる。	・異性のよさに目を向けている。 (ノート)